

令和3年度

産業労働部運営プログラム

令和3年7月
産業労働部

令和3年度 産業労働部施策体系

I 第4次山形県総合発展計画の推進

【 】…第4次山形県総合発展計画実施計画の施策番号

1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保【1】

- (1) 学校教育の充実【1-1】
 - ① 社会の変化に対応して自立する力を伸ばす教育の充実
 - ② 高等教育、専門的職業教育の充実
- (2) 生涯を通じた多様な学びの機会の充実【1-2】
 - ③ 産業界や地域のニーズを踏まえた社会人の学び直しの促進
- (3) 若者の定着・回帰の促進【1-3】
 - ④ 子どもの頃からの地域への愛着や理解の醸成
 - ⑤ 県内就業の促進
- (4) 国内外の様々な人材の呼び込み【1-4】
 - ⑥ 移住・定住の促進
 - ⑦ 「関係人口」の創出・拡大
 - ⑧ 外国人材の受入れ拡大

2 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化【3】

- (5) IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出【3-1】
 - ⑨ 先端技術の活用等によるイノベーションの創出
 - ⑩ 成長期待分野におけるイノベーションの創出
 - ⑪ イノベーション創出のための環境づくり
 - ⑫ 新たな事業の創出をけん引する人材の育成・確保
 - ⑬ 起業家・スタートアップ企業の創出
- (6) 地域産業の振興・活性化と中小企業等の成長・発展【3-2】
 - ⑭ 競争力のあるものづくり産業群の形成
 - ⑮ 地域をマーケットとして雇用創出と所得循環を担う産業の振興
 - ⑯ 広域的なマーケットの開拓
 - ⑰ 企業の持続的発展に必要な人材の確保、円滑な事業承継の促進

3 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり【4】

(7) 総合的な少子化対策の新展開【4-5】

- ⑱ 若い年齢での結婚の希望の実現を後押しする取組みの強化
- ⑲ 出生数増加の鍵となる若者の定着・回帰の促進【⑤の再掲】
- ⑳ 子育てと仕事の両立に向けた取組みの強化

(8) 県民誰もが個性や能力を発揮し、活躍できる環境の整備【4-6】

- ㉑ 一人ひとりの多様な社会参加・就労の促進
- ㉒ 外国人の受入環境の整備
- ㉓ 多様な主体による社会的課題の解決に向けた取組みの促進
- ㉔ 働き方改革の推進

4 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用【5】

(9) 国内外の活力を呼び込む多様で重層的な交通ネットワークの形成【5-2】

- ㉕ 国際ネットワークの形成促進

(10) 地域の特性を活かし暮らしを支える活力ある圏域の形成【5-4】

- ㉖ 魅力あるまちづくりの推進
- ㉗ 県を超えた交流連携の推進

令和3年度 産業労働部 主要事業

I 第4次山形県総合発展計画の推進

1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保【1】

(1) 学校教育の充実【1-1】



施策の推進方向と主な取組み

① 社会の変化に対応して自立する力を伸ばす教育の充実

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<多様な自己実現やスタートアップに必要となる力の育成>

（課題）

- ・新たなアイデアや意欲を持った若者が実際に事業を体験し、ノウハウを吸収することでビジネスプランを構築・磨き上げ、着実な起業に結び付けることが必要
- ・AIなどのデジタル技術を活用して新しい価値を生み出す企業との交流により、起業家的素養を培う機会が必要

（対応）

- ・事業ノウハウを習得する機会の提供を支援
⇒民間が実施する起業家のマインドを醸成する取組みの側面支援を実施
- ・AIの基礎を学ぶ「やまがたAI部」と県内ものづくり企業との連携
⇒「やまがたAI部」でAIの基礎を学ぶ高校生による、ものづくり企業の視察やAI活用方法などを検討するワークショップ等の実施

【令和3年度関連事務事業】

（単位：千円）

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|-----------------|--------------|---|--|----------------------|
| デジタルものづくり人材育成事業 | 4,791 (一) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 「やまがたAI部」でAI技術の基礎を学ぶ高校生による、ものづくり企業の視察及びIT関連企業での実習や、ものづくり企業におけるAI活用方法などを検討するワークショップ等の実施 | 4 |
| 計 | 4,791 (一) | | | |

② 高等教育、専門的職業教育の充実

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

| |
|---|
| <p><高等教育機関における高度で実践的・創造的な教育の展開> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IOTやAIなど先端技術を活用した生産性向上が求められているが、これらの技術に対応できるIT技術者の確保が必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IT技術者の育成 ⇒産業技術短期大学校におけるIOTやAIなど先端技術に関する内容を取り入れた訓練カリキュラムの充実 |
|---|

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|----------------------|--------------------|---|---|----------------------|
| 技術者養成事業費 | 6,330 (6,433) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 県内企業における高度技術者養成研修の実施 | 4 |
| 向上訓練費 | 5,529 (5,882) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 山形職業能力開発専門校等において実施する民間企業の在職労働者を対象とした職業訓練の実施 | 4 |
| 成長分野参入人材育成事業費 | 6,092 (6,092) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 成長分野に進出する企業における生産効率と現場リーダーの資質向上を図る研修会の開催 | 4 |
| ものづくり産業マネジメント人材育成事業費 | 1,310 (1,416) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 中小企業の経営者等を対象とした事業戦略やマネジメント理論等に関する研修の実施 | 4 |
| デジタル人材スキルアップ事業 | 18,501 (-) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 今後必要なデジタル技術（IT、AI、ビッグデータ等）を利活用できる人材を育成する研修の実施 | 4 |
| 計 | 37,762 (19,823) | | | |

(2) 生涯を通じた多様な学びの機会の充実【1-2】



| | | |
|------|--------------------------|---|
| 目標指標 | 職業訓練・自己啓発を行った者の割合（15歳以上） | |
| | | 基準値（平成29年）：23.6% 直近値（平成29年）：23.6% 目標値（令和6年）：25.3% |

施策の推進方向と主な取組み

③ 産業界や地域のニーズを踏まえた社会人の学び直しの促進

| | | | | | | |
|-----|--------------------------|-----------------|-----|-----|-----|-----|
| KPI | 公共職業訓練（離職者訓練）の修了者における就職率 | | | | | |
| | | 基準値（平成30年度）：68% | | | | |
| | | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| | 指標値 | 75% | 75% | 75% | 75% | 75% |
| | 実績値 | 68%(H30) | | | | |

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

| |
|---|
| <多様な学び直しの機会の創出> （課題） ・離職者の就職を支援するため、民間訓練事業者を活用し様々な訓練をする一方、受講者の多い事務系の業種に対する求人が低調のため、受講者の就職率が伸び悩み （対応） ・多様な訓練の実施 ⇒子育て等を機に離職した女性等の再就職に向けた離職者訓練の充実 |
|---|

【令和3年度関連事務事業】

（単位：千円）

| 事業名 | 予算額 （前年度） | 区分 | 事業概要 | 関連するSDGsの ゴール |
|---------------------|----------------------|---|---|------------------|
| 離職者職業訓練事業費 | 243,382 (233,365) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 離職者の早期再就職や障がい者の就業を支援するための職業訓練の実施 | 4 |
| 認定職業訓練施設助成事業費 | 71,878 (88,440) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 認定職業訓練施設の運営及び施設設備整備に対する支援 | 4 |
| 就職氷河期世代技能検定手数料支援事業費 | 1,820 (1,820) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 就職氷河期世代の就業や雇用の安定を促進するため、非正規雇用労働者等が技能検定を受検する際の手数料を支援 | 4 |
| 計 | 317,080 (323,625) | | | |

(3) 若者の定着・回帰の促進【1-3】



施策の推進方向と主な取組み

④ 子どもの頃からの地域への愛着や理解の醸成

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

| |
|--|
| <p><児童生徒が地元の大人と関わりながら地域の魅力等について学ぶ機会の充実> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等への進学予定者が県内企業や地域の産業情報に触れる機会が少なく、就職活動開始時に県内企業が候補先から外れることが懸念 ・デジタル技術を学ぶ高校生に対し、高校や進学先の卒業後の地元定着を促すことが必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学予定の高校生に対し、県内企業の魅力や地域で働く意義を伝え、地域の産業界で働く意識を醸成するため、進学校と連携し県内企業を知り、地域の産業を理解するための機会を創出 <ul style="list-style-type: none"> ⇒高校生を対象とした企業経営者等による講演会などの開催 ・A I技術を学ぶ高校生を県内企業と結び付け、県内就職への意識を醸成 <ul style="list-style-type: none"> ⇒「やまがたA I部」でA Iの基礎を学ぶ高校生による、ものづくり企業の視察やA I活用方法などを検討するワークショップ等の実施（再掲） |
| <p><児童生徒や保護者に向けた山形暮らしのポジティブな情報・イメージの発信> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内には、世界的又は全国的に有名な製品が数多くあるものの、子供たちは、身近で作られているこれらのモノについて、また、山形のモノづくりの魅力について学ぶ機会が少ない状況 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒「ヤマガタものづくりガイドブック」の活用等、県内小中高生に対する県内企業の情報発信 |

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|---------------------|------------------|---|--|----------------------|
| デジタルものづくり人材育成事業（再掲） | 4,791 (一) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 「やまがたA I部」でA I技術の基礎を学ぶ高校生による、ものづくり企業の視察及びI T関連企業での実習や、ものづくり企業におけるA I活用方法などを検討するワークショップ等の実施 | 9 |
| 次世代ものづくり人材育成促進事業費 | 6,596 (6,850) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 次世代のものづくりを担う小中学生向け県内企業啓発ガイドブックの作成や、ものづくり企業の人材育成に関するコーディネート | 8 |

| | | | | |
|-------------------------|--------------------|---|--|---|
| 県立職業能力開発施設を活用した県内定着促進事業 | 3,376 (一) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 中高生を対象に技術及び技能の魅力を伝える実践的な出前授業・体験教室を開催 | 8 |
| 人材確保・生産性向上推進事業費 | 37,032 (63,255) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 若者や女性、高齢者、障がい者等の多様な人材と企業とのマッチング支援、県内企業の生産性を向上するためのAI・ロボット導入支援の強化 | 8 |
| 計 | 51,795 (70,105) | | | |

⑤ 県内就業の促進

| | | | | | | |
|-------|-----------------------|---------------|---------|---------|---------|-------|
| K P I | 県内新規高卒者の県内就職割合 | | | | | |
| | 基準値（平成30年度）： 77.9% | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 79.3% | 80.0% | 80.6% | 81.3% | 82.0% |
| | 実績値 | 74.2% (R1) | | | | |
| | 県内大学・短期大学等卒業者の県内就職割合 | | | | | |
| | 基準値（平成30年度）： 36.1% | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 37.4% | 38.1% | 38.7% | 39.4% | 40.0% |
| | 実績値 | 37.4% | | | | |
| | 就職支援サイトのアクセス件数（セッション） | | | | | |
| | 基準値（平成30年度）： 49,434件 | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| 指標値 | 50,000件 | 50,500件 | 51,000件 | 51,500件 | 52,000件 | |
| 実績値 | 76,462件 | | | | | |

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<学生目線に立った訴求力のある情報の発信>

（課題）

- ・学生に伝わりやすく魅力的な就職関連情報を発信する効果的手法の検討・発信が必要

（対応）

- ・新卒者等の採用に向け新たな取組みを行う県内の中小・小規模企業に対する支援の対象に「PR動画作成」を追加し、学生への訴求力向上を促進

<県外進学者等に対する継続的な情報発信>

（課題）

- ・県内高校卒業生への就職関連情報の継続的な発信が必要

(対応)

- ・ 県外の大学等に進学した学生に対する就職ガイダンス等の情報を発信するほか、県内企業の合同説明会を、新型コロナの状況を注視しながら首都圏又はオンラインで実施

< 県内企業におけるインターンシップの受入れ促進 >

(課題)

- ・ 企業と学生のマッチングやインターンシップ受入れ企業向けのセミナー等の取組みの推進が必要

(対応)

- ・ 新型コロナの状況を注視しながら学生向けセミナーを首都圏又はオンラインで実施

< 大卒者等の専門・高度な知識や能力を活かせる就業の場の拡大 >

(課題)

- ・ 大学、高等専門学校の卒業者の大部分が県外に就職

(対応)

- ・ 企業誘致活動の推進
⇒ 若者や女性、Uターン者、大卒者等の受け皿となる企業の本社機能・研究開発機能やソフト産業（ソフトウェア業やデザイン業等）等に対する積極的な誘致活動の展開

< 若者や女性等の志向に応じた就業の場の拡大 >

(課題)

- ・ コロナ禍にあって、商店街の活性化が停滞しており、リモートなどによる新たな仕組みの構築やeコマースなどの積極的活用が必要
- ・ コロナ禍にあって、まちづくりに取り組んでいる若者や女性もおり、引き続き意識啓発が必要

(対応)

- ・ ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた内容で「まちづくりカフェ」を展開

< 良質な就業環境づくり >

(課題)

- ・ 非正規雇用労働者の正社員化や同一労働同一賃金の実現による非正規雇用労働者の処遇改善が必要
- ・ 新卒者等の早期離職を防止し、職場に定着する支援が必要

(対応)

- ・ 正社員化や処遇改善、特に女性の正社員化や賃金向上に向けた支援の充実
⇒ 非正規雇用労働者の正社員化や賃金引上げを行った事業者に対する支援金の給付
- ・ 新卒者等の早期離職を防止する支援の充実
⇒ 新卒者等と先輩職員との交流会等の実施

< 若者や女性の新しい感性に基づく多様な創業の促進 >

(課題)

- ・ 若者や女性のアイデアを磨き上げ、ビジネスプランの作成や事業化に結び付けていくことが必要

(対応)

- ・若者や女性の創業希望者が相談しやすい環境の整備
⇒起業・創業支援のワンストップ窓口と県内外の起業家と交流ができるコワーキングスペースを設置

<首都圏等からのUターン就職の促進>

(課題)

- ・新型コロナの感染拡大を契機とした地方移住への関心の高まりを捉えた本県へのUターンを促進するための支援が必要
- ・少子化や大学生を中心とした若者の県外流出等による人口減少が続いており、県内企業の人材確保が困難
- ・コロナ禍で例年と比較して就職活動・採用活動が困難となることが予想される新卒学生・県内企業への支援が必要

(対応)

- ・新型コロナの影響による県外からの移住の促進及び移住者の就職に向けた支援の充実
⇒新型コロナの影響による県外からの移住者及び移住者を正社員として採用した事業者に対する奨励金の給付
- ・市町村や産業界との連携による地域を挙げた県内就職支援の展開
⇒本県の将来の担い手となる若者の県内回帰・定着を促進するため、市町村・産業界と連携した奨学金返還支援の実施
- ・学生・企業双方からの期待が大きい「対面型」と遠方からの参加を可能とする「オンライン型」の両方を組み合わせた「ハイブリッド型の合同企業説明会」を開催

<県内企業における雇用の維持>

(課題)

- ・新型コロナの感染拡大により苦境にある県内企業が雇いを維持するための支援が必要
- ・新型コロナの感染拡大により解雇・雇止めをされた県民及び県外から本県に移住した方の再就職を後押しするための支援が必要

(対応)

- ・県内企業に対し、政府の雇用調整助成金を最大限活用し雇いを維持してもらうため「雇用調整助成金活用支援事業」を実施
- ・企業向けに、雇用シェアの取組みの相談や雇用関係の助成金の申請相談・手続きに関する指導・助言を行う「山形県相談窓口」を開設
- ・新型コロナの影響により離職した県民及び県外から本県に移住した方の再就職に向けた支援の充実
⇒新型コロナの影響により離職を余儀なくされた県民及び県外から本県に移住した方を正社員として採用した事業者に対する奨励金の給付

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|-----------------------|--------------------------|---|---|----------------------|
| 企業立地促進 事業費 | 2,051,796 (2,502,354) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 県外から新たに進出する企業及び県内企業（製造業、ソフトウェア業、デザイン業等）による設備投資等への支援 | 8 |
| 企業誘致連携 強化推進事業 費 | 2,150 (2,950) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 関係機関等との連携による効率的な企業誘致の推進 | 8 |

| | | | | |
|---------------------------------|----------------------|---|--|---|
| 企業誘致活動 促進事業費 | 5,961 (7,907) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 本県の強みを活かせる分野等での積極的な誘致活動の展開、誘致企業へのフォローアップ | 8 |
| 企業投資支援 事業費 | 1,982 (3,172) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 首都圏等の企業に対し、本県の投資環境等をPRするセミナーの開催 | 8 |
| 創業者・小規模事業者総合 応援事業費 | 59,420 (59,420) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 女性、Uターン希望者、新型コロナの影響を受けたリスタート希望者などによる創業の促進、小規模事業者の経営基盤強化への支援 | 8 |
| 創業支援セン ター設置事業 | 34,686 (一) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 県内での起業・創業支援のワンストップ窓口と県内コワーキングスペースの中核的機能を有する「山形県創業支援センター(仮称)」を創設 | 8 |
| 賑わいのある 商店街づくり 推進事業費 | 4,012 (5,829) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 中心市街地・商店街の活性化に向けた取組みに対する市町村と連携した支援 | 8 |
| 山形の未来を 担う産業人材 創出事業費 | 28,291 (35,554) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 将来の山形の産業を担う子ども達の育成に向けた青少年発明クラブへの活動支援、コワーキングスペースのネットワーク化、本県産業に活力を生み出すスタートアップ(創業)人材の育成、県内企業の採用活動等の人材確保策に対する支援等 | 9 |
| 県内定着・回 帰促進事業費 | 16,601 (18,715) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 若者の県内定着・回帰に向けた就職情報サイトの運営、関係機関や首都圏の大学等と連携した地方創生インターンシップの推進、新卒者等の早期離職防止に向けた交流会等の実施 | 8 |
| 若年者Uター ン人材確保 対策事業費 | 11,283 (12,578) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 首都圏などに住む若者等に対する就職相談や県内企業情報の提供等 | 8 |
| 人材確保・生 産性向上推進 事業費(再 掲) | 37,032 (63,255) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 若者や女性、高齢者、障がい者等の多様な人材と企業とのマッチング支援、県内企業の生産性を向上するためのAI・ロボット導入支援の強化 | 8 |
| 新卒学生向け 合同企業説明 会実施事業 | 8,099 (一) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 「対面型」と「オンライン型」を組み合わせた「ハイブリッド型合同企業説明会」を開催 | 8 |
| やまがた就職 促進奨学金返 還支援事業 | 280,017 (354,002) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 本県の将来の担い手となる若者の県内定着・回帰を図るため奨学金の返還を支援 | 8 |
| 女性の賃金向 上推進事業費 | 120,370 (一) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 事業所内の非正規雇用労働者の賃金引上げを行った場合及び非正規雇用労働者を正社員に転換した場合、その事業者に支援金を支給 | 8 |
| 雇用調整助成 金活用支援事 業費 | 228,941 (150,301) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 政府の雇用調整助成金の活用促進を図るため、相談窓口の開設、県単上乘せ及び市町村との連携による申請代行手数料の助成を実施 | 8 |

| | | | | |
|--------------|--------------------------|---|--|---|
| 雇用シェア推進支援事業費 | 10,458 (一) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 雇用調整助成金に加え、雇用シェア（在籍型出向）の取組みに関する相談など、幅広く雇用関係の助成金等の申請相談・手続きに関する指導・助言を行う「山形県相談窓口」の設置 | 8 |
| 正社員雇用促進事業 | 77,500 (一) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 新型コロナの影響により離職を余儀なくされた県民及び県外から本県に移住した方を県内事業所において正社員として採用した場合、その事業者には奨励金、移住者には支援金を支給 | 8 |
| 計 | 2,978,599 (3,216,037) | | | |

(4) 国内外の様々な人材の呼び込み【1-4】



施策の推進方向と主な取組み

⑥ 移住・定住の促進

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<生活面・就業面の支援の強化>

（課題）

- ・少子化や大学生を中心とした若者の県外流出等による人口減少が続いており、県内企業の人材確保が困難（再掲）
- ・新型コロナの感染拡大により解雇・雇い止めをされた県民及び県外から本県に移住した方の再就職を後押しするための支援が必要（再掲）

（対応）

- ・市町村や産業界との連携による地域を挙げた県内就職支援の展開（再掲）
⇒本県の将来の担い手となる若者の県内回帰・定着を促進するため、市町村・産業界と連携した奨学金返還支援の実施（再掲）
- ・新型コロナの影響により離職した県民及び県外から本県に移住した方の再就職に向けた支援の充実（再掲）
⇒新型コロナの影響により離職を余儀なくされた県民及び県外から本県に移住した方を正社員として採用した事業者に対する奨励金の給付（再掲）

【令和3年度関連事務事業】

（単位：千円）

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|-----------------------|----------------------|---|--|----------------------|
| やまがた就職促進奨学金返還支援事業（再掲） | 280,017 (354,002) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 本県の将来の担い手となる若者の県内定着・回帰を図るため奨学金の返還を支援 | 8 |
| 正社員雇用促進事業（再掲） | 77,500 (-) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 新型コロナの影響により離職を余儀なくされた県民及び県外から本県に移住した方を県内事業所において正社員として採用した場合、その事業者には奨励金、移住者には支援金を支給 | 8 |
| 計 | 357,517 (354,002) | | | |

⑦ 「関係人口」の創出・拡大

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<本県との関わりの創出・拡大>

（課題）

- ・企業の成長戦略を実現するために有効となる副業・兼業人材の活用について、県内企業の理解促進を図ることが必要

| |
|--|
| <p>・ これまでも「山形心のふるさと県民」認定制度を通して本県との関わりを継続する機会を提供してきたが、コロナ禍により停滞している関係人口の拡大につなげるため、来県を促すような機会の提供が必要</p> <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業における副業・兼業人材活用のための周知の強化 ⇒コロナ禍における副業・兼業の有用性などの周知について、企業訪問やチラシ作成などにより実施 ・ 山形応援寄付金（ふるさと納税）を通じた県産品の販路拡大 ⇒「山形心のふるさと県民」を対象とした返礼品モニター募集について、体験型に限定し、寄附者と本県のつながりを強化するとともに、体験型返礼品の需要を喚起 |
|--|

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連するSDGsのゴール |
|--------------------|------------------------|---|---|--------------|
| プロフェッショナル人材戦略推進事業費 | 36,070 (45,429) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 県内企業の成長戦略を実現するプロフェッショナル人材及び副業・兼業人材のニーズの掘り起こし、企業とのマッチング支援、人材受入れ企業への紹介手数料及び副業・兼業人材の旅費助成 | 8 |
| 山形応援寄付金受入事業費 | 1,008,580 (746,320) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 山形応援寄付金(ふるさと納税)を通じた県産品の知名度向上と販路拡大 | 8 |
| 計 | 1,044,650 (791,749) | | | |

⑧ 外国人材の受入れ拡大

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

| |
|--|
| <p><留学生等の受入れから定着までの総合的な支援></p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内大学等の留学生が、本県の魅力や県内企業の技術力等に触れ、就職先として強く関心を持ってもらうことが必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内大学等の留学生を対象に、大学等との連携を図りながら、県内企業への訪問や企業説明会など県内企業との接点を設けながら、留学生と県内企業とのマッチング支援を実施（新型コロナウイルスの状況によっては、オンラインによる説明会の実施も検討） |
|--|

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連するSDGsのゴール |
|-------------|------------------|---|---------------------------------|--------------|
| 海外事業展開戦略事業費 | 2,874 (2,874) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 県内大学等の留学生を対象とする企業見学会・企業合同説明会の開催 | 8 |
| 計 | 2,874 (2,874) | | | |

2 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化【3】

(5) IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出【3-1】



| | | |
|------|-------------------|---------|
| 目標指標 | 製造業従事者一人当たり 付加価値額 | |
| | 基準値 (平成29年) | 1,133万円 |
| | 直近値 (令和元年) | 1,070万円 |
| | 目標値 (令和6年) | 1,400万円 |

施策の推進方向と主な取組み

⑨ 先端技術の活用等によるイノベーションの創出

| | | | | | | |
|-----|---------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| KPI | IoTイノベーションセンターの利用件数 | | | | | |
| | 基準値 (年度) | — | | | | |
| | | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| | 指標値 | 3,000件 | 5,000件 | 6,000件 | 6,000件 | 6,000件 |
| | 実績値 | 3,239件 | | | | |

【令和3年度における課題と対応 (前年度からの見直し・新たな取組みの内容)】

<先端技術を活用した新たな製品・サービス創出する支援機能の強化>

(課題)

- ・IoT・AI分野において新規参入を支援する取組みが必要
- ・AIなどのデジタル技術を活用して新しい価値を生み出すデジタルトランスフォーメーションを推進するため、次世代ものづくり人材の育成が必要

(対応)

- ・製品開発拠点の整備や技術支援
 - ⇒IoTイノベーションセンターの更なる活用
 - ⇒工業技術センターによる技術支援
- ・AI導入支援の充実
 - ⇒AIトップエンジニアの養成及びAIアドバイザーの派遣
- ・AIの基礎を学ぶ「やまがたAI部」と県内ものづくり企業との連携 (再掲)
 - ⇒「やまがたAI部」でAIの基礎を学ぶ高校生による、ものづくり企業の視察やAI活用方法などを検討するワークショップ等の実施 (再掲)

<新たな価値を生み出すネットワークづくり・プロジェクト化の推進>

(課題)

- ・県内企業の市場競争力強化が必要

(対応)

- ・産学官連携による製品化・事業化の推進
 - ⇒産学官連携コーディネーターによるマッチングの強化
 - ⇒工業技術センターものづくり創造ラボによる製品化支援

| |
|--|
| <p><企業の生産性向上（プロセスイノベーション）の促進> （課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内中小企業へのIoT等の普及を推進するため、県内企業が抱える活用や導入のノウハウの不足を解消する支援が必要 ・ ポストコロナを見据えて、県内中小企業・小規模事業者の経営力等のパワーアップによる県内経済の活性化を図ることが必要 <p>（対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IoT等の活用や導入の推進に必要な知識を持つ人材の派遣や育成等のきめ細かな支援 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ロボット活用人材育成研修の実施 ⇒ロボット導入支援アドバイザーの派遣 ⇒IoT活用コーディネーターの活用 ・ 普及啓発活動の継続 <ul style="list-style-type: none"> ⇒セミナー開催やIoT等活用モデル事例の周知 ・ ポストコロナに向けた中小企業のデジタル化などのイノベーション創出支援 |
|--|

【令和3年度関連事務事業】

（単位：千円）

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|------------------------|----------------------|---|---|----------------------|
| デジタルものづくり人材育成事業（再掲） | 4,791 (-) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 「やまがたAⅠ部」でAⅠ技術の基礎を学ぶ高校生による、ものづくり企業の視察及びIoT関連企業での実習や、ものづくり企業におけるAⅠ活用方法などを検討するワークショップ等の実施 | 9 |
| 情報サービス産業振興事業費 | 7,502 (7,772) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 「山形県IoT推進ラボ」などを通じた情報サービス産業の振興と県内企業へのIoT等の導入促進 | 9 |
| 人材確保・生産性向上推進事業費（再掲） | 37,032 (63,255) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 若者や女性、高齢者、障がい者等の多様な人材と企業とのマッチング支援、県内企業の実産性を向上するためのAⅠ・ロボット導入支援の強化等 | 9 |
| 中小企業パワーアップ補助事業（基金事業含む） | 253,788 (-) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | ポストコロナを見据えて、県内中小企業・小規模事業者の経営力等のパワーアップにより県内経済の活性化を図る補助金制度の創設 | 9 |
| 工業技術センター試験研究費 | 123,575 (108,986) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 県内企業の実産的課題に対応した共同研究や受託試験などによる技術支援の実施 | 9 |
| ものづくり産業新活力創出事業費 | 45,513 (-) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 新型コロナウイルスの影響等を踏まえたオンライン商談等による取引拡大支援や医療、ロボット、環境・エネルギーなどの成長期待分野への進出支援 | 8 |
| 自動車キーテクノロジー支援研究開発事業費 | 4,685 (8,018) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 自動車製造に係る新技術の研究開発 | 9 |

| | | | | |
|---------------------|------------------------------|---|--|---|
| 環境・エネルギー関連技術研究開発事業費 | 6,228 (5,091) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | エネルギー関連技術や環境負荷低減に寄与する技術の研究開発 | 9 |
| やまがたフードセンシング活用事業費 | 11,206 (7,682) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 各種分析などのセンシング技術を活用した県産農産物等の特徴や機能性を活かした新たな加工食品の研究開発 | 9 |
| ロボット応用システム開発事業費 | 2,829 (923) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 製造現場等におけるロボット応用に関する研究や、ロボットに搭載する各種センサーの研究開発 | 9 |
| 医療ものづくり技術開発事業費 | 4,389 (4,256) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 医療分野向けの検査装置や新たなセンサー製造技術の研究開発 | 9 |
| 商工業振興資金融資事業費 | 123,554,067 (106,619,134) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 中小企業者の経営の安定と競争力の強化のため商工業振興資金融資制度の運営 ・取扱金融機関への原資貸付 | 8 |
| 計 | 124,055,605 (106,825,117) | | | |

⑩ 成長期待分野におけるイノベーションの創出

| | | | | | | |
|-------|---------------------------------|------|------|------|------|-----|
| K P I | 有機エレクトロニクス分野における県内企業との共同研究等実施件数 | | | | | |
| | 基準値（平成30年度）： 18件 | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 20件 | 21件 | 22件 | 23件 | 24件 |
| | 実績値 | 22件 | | | | |
| | 慶應先端研と県内企業等との共同研究等実施件数 | | | | | |
| | 基準値（平成30年度）： 19件 | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 22件 | 23件 | 24件 | 25件 | 26件 |
| | 実績値 | 19件 | | | | |
| | 成長期待分野に新たに参入する県内企業数(累計) | | | | | |
| | 基準値（平成30年度）： 187件 | | | | | |
| | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 | |
| 指標値 | 197件 | 207件 | 217件 | 227件 | 237件 | |
| 実績値 | 240件 | | | | | |

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

＜成長が期待される分野への参入促進＞

（課題）

- ・徹底した生産性の向上を図りながら、安定的に高い付加価値を生み出せる分野等への参入・取引拡大の促進が必要

（対応）

- ・県内企業への情報提供
⇒成長分野等の市場動向、業界特性、求められる技術水準など
- ・取引拡大支援
⇒製品開発に対する助成、技術支援や生産現場改善支援など

＜世界最先端技術を活かした事業化の促進＞

（課題）

- ・有機EL照明製品の市場における地位確立と普及拡大
- ・有機ELディスプレイ分野における事業化に取り組む中核企業の地域定着
- ・山形大学が世界に誇る有機エレクトロニクス分野の研究シーズの事業化

（対応）

- ・有機EL照明分野における製品開発への支援と有機ELディスプレイ分野における中核企業の量産化事業立上げ支援、有機エレクトロニクス分野における山形大学と県内企業による共同研究への支援
⇒量産化等支援事業及び山形大学との共同開発支援事業の実施
⇒八幡原事業化実証施設の運営
⇒OLEDコーディネーターの活用

（課題）

- ・世界最先端のメタボローム研究拠点としての優位性を活かした産業集積及び県内企業による慶應先端研の研究成果の一層の活用促進

（対応）

- ・慶應先端研の成果の波及拡大のための体制強化
⇒協定に基づく慶應先端研の受け入れ体制の整備
県内企業とのマッチング及び慶應先端研発ベンチャーの事業化に対する支援
- ・構造タンパク質素材の事業化促進
⇒慶應先端研発ベンチャーによる構造タンパク質素材の事業化の促進及び同社を核としたバイオ関連産業の振興
- ・国立がん研究センター鶴岡連携研究拠点の運営支援
⇒国立がん研究センター鶴岡連携研究拠点に係る第2期協定に基づく同拠点の研究開発の推進支援
- ・慶應先端研発ベンチャー企業等における研究開発の加速
⇒県内企業と連携した慶應先端研発ベンチャー企業等が取り組む販路開拓等に対する支援

＜SDGsの考えを取り入れた新たなビジネス創出の促進＞

（課題）

- ・大企業による「SDGs経営」の取組みや大学等における理念教育等の動きが拡大している一方で、中小企業・小規模事業者においては、全国的に認知度の向上や対応が進んでいない状況

| |
|--|
| (対応) ・県内企業が取り組むべき重点分野や普及・指導の方法、体制等に係る、県内企業の取り組み推進の指針の策定 ⇒「SDGs推進方針(仮称)」の策定 |
|--|

【令和3年度関連事務事業】

(単位:千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|-------------------------------|----------------------|---|--|----------------------|
| ものづくり産業 新活力創出事業 費(再掲) | 45,513 (一) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 新型コロナの影響等を踏まえたオンライン商談等による取引拡大支援や医療、ロボット、環境・エネルギーなどの成長期待分野への進出支援 | 8 |
| 中小企業販路開 拓促進事業費 | 23,987 (34,933) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 県内に取引推進員、首都圏に発注開拓推進員を配置し、県内企業の販路開拓支援を行うほか、複数の企業グループが共同受注を行うための経費を助成 | 8 |
| 中小企業取引支 援対策事業費 | 10,130 (18,480) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 取引あっせんや商談会(web商談会含む)開催等による中小企業の取引拡大への支援や取引支援アドバイザーによる生産性向上に向けた支援 | 8 |
| 自動車関連産業 集積促進事業費 | 19,232 (20,128) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 県内企業の取引拡大に向けた商談会の開催、自動車メーカーOBによる県内企業への個別指導、次世代自動車技術への対応等 | 8 |
| 有機エレクトロ ニクス関連産業 集積促進事業費 | 80,190 (133,412) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 有機EL(ディスプレイや照明)分野への参入のための実証と事業化の支援、有機エレクトロニクス分野における共同研究や製品開発の促進 | 9 |
| 先端生命科学研 究所教育研究支 援事業費 | 350,899 (350,100) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 慶應義塾大学先端生命科学研究所における研究教育活動への支援 | 8 |
| バイオクラスタ ー形成促進事業 費 | 51,561 (73,565) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 慶應義塾大学先端生命科学研究所の研究成果を活用した県内企業による事業化の促進、構造タンパク質素材関連産業の集積及びバイオ関連産業の事業拡大に向け行う販路開拓等に対する支援・成長に向けた支援 | 8 |
| がんメタボロー ム研究開発促進 事業費 | 107,082 (107,726) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 国立がん研究センターと慶應義塾大学先端生命科学研究所が連携して実施するがんメタボローム研究への支援 | 8 |
| 人材確保・生産 性向上推進事業 費(再掲) | 37,032 (63,255) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 若者や女性、高齢者、障がい者等の多様な人材と企業とのマッチング支援、県内企業の生産性を向上するためのAI・ロボット導入支援の強化等 | 9 |
| 自動車航空機関 連産業設備貸与 事業費 | 88,523 (75,891) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | (公財)山形県企業振興公社が実施する自動車・航空機分野での取引拡大等を目指す県内企業を対象とした設備貸与事業に対する原資貸付 | 8 |

| | | | | |
|---|----------------------|--|--|--|
| 計 | 814,149 (877,490) | | | |
|---|----------------------|--|--|--|

⑪ イノベーション創出のための環境づくり

| | | | | | | |
|-------|-------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| K P I | コワーキングスペースを活用した新規事業創出件数 | | | | | |
| | 基準値（年度）： — | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 1 件 | 3 件 | 5 件 | 5 件 | 5 件 |
| | 実績値 | 0 件 | | | | |

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

＜オープンイノベーションを育む交流の推進＞

（課題）

- ・ 県内のコワーキングスペースは、大都市に比べ会員数が少なく、創業者間の交流による事業の拡大やビジネスチャンス、必要な助言等を得られる機会が少ない状況

（対応）

- ・ 県内コワーキングスペースのネットワーク化を拡大
⇒ 常時接続するコワーキングスペースを拡大し、それぞれのコワーキングスペースで創業者や創業希望者がアイデアを発表する場を拡充

【令和3年度関連事務事業】

（単位：千円）

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|-----------------------|--------------------|---|---|----------------------|
| 山形の未来を担う産業人材創出事業費（再掲） | 28,291 (35,554) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 将来の山形の産業を担う子ども達の育成に向けた少年少女発明クラブへの活動支援、コワーキングスペースのネットワーク化、本県産業に活力を生み出すスタートアップ（創業）人材の育成、県内企業の採用活動等の人材確保策に対する支援等 | 9 |
| 計 | 28,291 (35,554) | | | |

⑫ 新たな事業の創出をけん引する人材の育成・確保

| | | | | | | |
|-------|-------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| K P I | プロフェッショナル人材戦略拠点によるマッチング件数（累計） | | | | | |
| | 基準値（令和元年度）： 173 件 | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 225 件 | 277 件 | 329 件 | 329 件 | 329 件 |
| | 実績値 | 322 件 | | | | |

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

| |
|---|
| <p><高い付加価値を生み出すことができる人材の育成・確保> (課題) ・県内企業において、プロ人材の活用や理解を広げるため、人材紹介事業に参入している地方銀行との連携を強化し活用を促進していくことが必要</p> <p>(対応) ・金融機関との連携強化 ⇒令和2年度に構築した金融機関（信用金庫・信用組合）との連携を継続するほか、地方銀行と連携した取組みを実施</p> <p><次代を担う高度技術人材の裾野の拡大> (課題) ・将来の本県のものづくり産業を担う人材の確保に向けた、小中学生に対する「ものづくり」への興味関心の醸成</p> <p>(対応) ・将来のものづくり人材の確保 ⇒県、教育機関、商工団体、企業等の連携による県内の少年少女発明クラブの活動支援及び空白地域への新設支援</p> |
|---|

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連するSDGsのゴール |
|------------------------|--------------------|---|---|--------------|
| プロフェッショナル人材戦略推進事業費（再掲） | 36,070 (45,429) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 県内企業の成長戦略を実現するプロフェッショナル人材及び副業・兼業人材のニーズの掘り起こし、企業とのマッチング支援、人材受入れ企業への紹介手数料及び副業・兼業人材の旅費助成 | 8 |
| 山形の未来を担う産業人材創出事業費（再掲） | 28,291 (35,554) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 将来の山形の産業を担う子ども達の育成に向けた少年少女発明クラブへの活動支援、コワーキングスペースのネットワーク化、本県産業に活力を生み出すスタートアップ（創業）人材の育成、県内企業の採用活動等の人材確保策に対する支援等 | 8 |
| 計 | 64,361 (80,983) | | | |

⑬ 起業家・スタートアップ企業の創出

| | | | | | | |
|-------|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| K P I | 県の支援による創業件数 | | | | | |
| | 基準値（令和元年度）： 67件 | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 70件 | 70件 | 70件 | 70件 | 70件 |
| | 実績値 | 73件 | | | | |

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

| |
|--|
| <p><スタートアップ企業への支援の充実> (課題) ・本県産業を牽引する中核的なビジネスの創出が必要</p> <p>(対応) ・スタートアップ支援体制の構築 ⇒産学官金連携による支援 ・スタートアップへの事業化への支援 ⇒補助金等による支援</p> <p><子どもや若者等の起業家精神育成・学習機会の充実> (課題) ・本県の地域経済を支え、太宗を占める中小企業・小規模事業者が減少しているため、地域の担い手を継続的に生み出す取組みが必要</p> <p>(対応) ・将来の科学技術等を担い、起業等により地域経済を支える人材の育成 ⇒慶應先端研による研究助手・特別研修生制度など高校生を積極的に研究や実験に参加させる取組みへの支援 ・子どもや若者等への創業やスタートアップの啓発 ⇒民間が実施する起業家のマインドを醸成する取組みの側面支援を実施（再掲） ・若者が創業の相談をしやすい環境の整備 ⇒起業・創業支援のワンストップ窓口と県内外の起業家と交流ができるコワーキングスペースを設置（再掲）</p> |
|--|

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|-----------------------|--------------------|---|--|----------------------|
| 山形の未来を担う産業人材創出事業費（再掲） | 28,291 (35,554) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ・将来の山形の産業を担う子ども達の育成に向けた少年少女発明クラブへの活動支援、コワーキングスペースのネットワーク化、本県産業に活力を生み出すスタートアップ（創業）人材の育成、県内企業の採用活動等の人材確保策に対する支援等 | 8 |
| 創業者・小規模事業者総合応援事業費（再掲） | 59,420 (59,420) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 女性、Uターン希望者、新型コロナの影響を受けたリスタート希望者などによる創業の促進、小規模事業者の経営基盤強化への支援 | 8 |
| 人材確保・生産性向上推進事業費（再掲） | 37,032 (63,255) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 若者や女性、高齢者、障がい者等の多様な人材と企業とのマッチング支援、県内企業の生産性を向上するためのAI・ロボット導入支援の強化等 | 8 |
| 創業支援センター設置事業（再掲） | 34,686 (-) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 起業・創業支援のワンストップ窓口と、県内コワーキングスペースの中核的機能を有する「山形県創業支援センター（仮称）」の創設 | 8 |

| | | | | |
|----------------------------|----------------------|---|---|---|
| 山形県産業創造 支援センター運 営事業費 | 11,325 (11,325) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 情報化・デザイン関連産業振興、新規 創業、新分野進出を支援する産業創造 支援センターの管理運営 | 8 |
| 計 | 170,754 (169,554) | | | |

(6) 地域産業の振興・活性化と中小企業等の成長・発展【3-2】



| | |
|------|---|
| 目標指標 | 製造業付加価値額 |
| | 基準値（平成29年）：1兆1,212億円 直近値（令和元年）：1兆 815億円 目標値（令和6年）：1兆4,000億円 |

施策の推進方向と主な取組み

⑭ 競争力のあるものづくり産業群の形成

| | | | | | | |
|-------|-------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| K P I | 工業技術センターによる技術移転件数 | | | | | |
| | 基準値（平成30年度）： 52件 | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 60件 | 60件 | 60件 | 60件 | 60件 |
| | 実績値 | 94件 | | | | |

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<個々の企業の技術・経営基盤の強化と企業間ネットワークの形成促進>

（課題）

- ・ 企業間の相互交流や地域での共同受注の体制整備と、体制を整備した企業グループが実際に仕事を受けることが必要
- ・ 県産農産物や県産木材に新たな価値を付加する技術の開発の促進が必要
- ・ 中小企業・小規模事業者は経営基盤や組織体制が脆弱であることから、支援機関による連携した支援が必要

（対応）

- ・ 共同受注に向けた成功事例の創出
⇒ 共同受注の体制整備及び受注活動に対する助成
- ・ 技術開発・製品開発に対する助成
⇒ やまがた産業技術振興基金による助成金交付事業（研究開発支援事業）による支援など
- ・ 「中小企業トータルサポート体制」による中小企業等の経営全般への支援
⇒ 商工会・商工会議所、中小企業団体中央会、企業振興公社等による支援の強化

<デザインを活用した価値創出>

（課題）

- ・ 経営者のデザインに対する理解が必要
- ・ 企業の製品企画力、マーケティング力の向上が必要

（対応）

- ・ 経営者や開発責任者のデザインに対する理解力の深化
⇒ 「アフターコロナ：次の一手」をテーマにデザイン思考による企業の課題解決のためのワークショップの開催
- ⇒ 山形エクセレントデザイン2021の選定・顕彰

| |
|--|
| ・企業のデザイン力の強化 ⇒東北芸術工科大学の有する人材、知識を活用した製品開発の推進 ⇒製品の販路開拓及びブラッシュアップの手法に関するワークショップ等の開催 |
|--|

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|------------------------|--------------------------|---|--|----------------------|
| 中小企業販路開拓促進事業費 (再掲) | 23,987 (34,933) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 県内に取引推進員、首都圏に発注開拓推進員を配置し、県内企業の販路開拓支援を行うほか、複数の企業グループが共同受注を行うための経費を助成 | 8 |
| 中小企業パワーアップ補助事業 (再掲) | 253,788 (一) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | ポストコロナを見据えて、県内中小企業・小規模事業者の経営力等のパワーアップにより県内経済の活性化を図る補助金制度の創設 | 9 |
| 中小企業等経営改善支援事業 | 7,872 (一) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | コロナ禍における中小企業等の経営改善のため、商工会議所及び商工会への支援員の追加配置 | 8 |
| デザイン振興事業費 | 6,510 (3,770) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 山形エクセレントデザインの選定・顕彰を中心とした優れたデザイン製品の販路開拓支援、芸工大と県内企業によるデザイン思考を取り入れたワークショップの開催、山形魅力発信モールを活用した山形エクセレントデザインの魅力発信 | 9 |
| 地域コーディネーター設置事業費 | 47,825 (47,851) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 中小企業の地域の身近な窓口である総合支庁への地域コーディネーターの配置、支援施策ガイドブックの作成 | 8 |
| 小規模事業者対策費 | 1,147,957 (1,145,712) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 商工会議所、商工会等が行う県内小規模事業者の経営改善に向けた相談・指導の体制整備や事業に要する経費への助成 | 8 |
| 連携組織対策費 | 130,068 (128,346) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 山形県中小企業団体中央会が実施する事業協同組合等の連携組織に対する指導やセミナー開催などの経費への助成 | 8 |
| 経営基盤強化体制整備事業費 | 34,263 (38,186) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | (公財)山形県企業振興公社に経営革新、オンライン活用、省エネ等の専門アドバイザー等を配置し、県内企業の経営課題の解決と発展・成長を支援 | 8 |
| 工業技術力整備機械貸与助成事業費 | 93,268 (101,726) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | (公財)山形県企業振興公社が実施する県内の中小企業を対象とした設備貸与事業に対する原資貸付 | 8 |
| 計 | 1,745,538 (1,500,524) | | | |

⑮ 地域をマーケットとして雇用創出と所得循環を担う産業の振興

| | | | | | | |
|-------|------------------------|------|------|------|------|------|
| K P I | 県の支援による商業・サービス業の新事業創出数 | | | | | |
| | 基準値（平成 30 年度）： 11 件 | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 15 件 | 16 件 | 17 件 | 18 件 | 20 件 |
| | 実績値 | 15 件 | | | | |

【令和 3 年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<サービス産業の生産性向上>

（課題）

- ・ 中小企業・小規模事業者は経営基盤や組織体制が脆弱であるため生産性向上に資する設備投資や経営改善等についての支援が必要
- ・ ポストコロナを見据えて、県内中小企業・小規模事業者の経営力等のパワーアップによる県内経済の活性化を図ることが必要（再掲）

（対応）

- ・ 設備投資等のための支援の充実
⇒生産性の向上に資する優れた設備投資への補助や低利融資、専門家派遣等への支援の充実
- ・ ポストコロナに向けた中小企業のデジタル化などのイノベーション創出支援（再掲）

<新たなビジネスの創出>

（課題）

- ・ インターネット通信販売の拡大などの商業形態の多様化や、新型コロナウイルスによる商業を取り巻く環境の変化により、地域を支える事業者の経営力が低下
- ・ 中心市街地の賑わいを創出するため、空き店舗を活用した若者や女性への起業支援を進めていくことが必要

（対応）

- ・ 地域を支える事業者の経営力強化に向けた取組みの推進
⇒コロナ禍において移動販売や宅配事業への需要が高まっていることから、市町村とも連携し、買物困難者対策に取り組む事業者への支援を強化
- ・ 中心市街地の空き店舗での創業支援の充実
⇒やまがたチャレンジ創業応援事業において、「中心市街地空き店舗活用型」の加算による創業支援を実施

<地域経済の景気浮揚策>

（課題）

- ・ 新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響が長期化
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、飲食店等の営業時間短縮への協力が必要

（対応）

- ・ 県民の県内での消費活動喚起策を実施
⇒県内の飲食店や小売店、生活関連サービス業等で、県民が利用できるプレミアム付きクーポン券を発行するとともに、利用期間を延長
- ・ 営業時間短縮に協力いただいた飲食店等に対する協力金の支給

| |
|---|
| <p><事業継続支援> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで支援金・給付金や時短要請協力金等の給付金事業を実施してきたが、未だ新型コロナウイルス感染症の影響が幅広い業種において継続 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業継続が困難となっている事業者に対する支援の実施 ⇒事業継続応援給付金の支給 |
|---|

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|--------------------------|--------------------------|---|--|----------------------|
| 賑わいのある商店街づくり推進事業費(再掲) | 4,012 (5,829) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 中心市街地・商店街の活性化に向けた取組みに対する市町村と連携した支援 | 8 |
| 創業者・小規模事業者総合応援事業費(再掲) | 59,420 (59,420) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 女性、Uターン希望者、新型コロナの影響を受けたリスタート希望者などによる創業の促進、小規模事業者の経営基盤強化への支援 | 8 |
| 小規模事業者対策費(再掲) | 1,147,957 (1,145,712) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 商工会議所、商工会等が行う県内小規模事業者の経営改善に向けた相談・指導の体制整備や事業に要する経費への助成 | 8 |
| 連携組織対策費(再掲) | 130,068 (128,346) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 山形県中小企業団体中央会が実施する事業協同組合等の連携組織に対する指導やセミナー開催などの経費への助成 | 8 |
| 中小企業パワーアップ補助事業(再掲) | 253,788 (-) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | ポストコロナを見据えて、県内中小企業・小規模事業者の経営力等のパワーアップにより県内経済の活性化を図る補助金制度の創設 | 9 |
| 飲食店・小売店・生活関連等消費応援事業費 | 775,000 (1,562,800) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 本格的な地域経済の回復につなげるため、県民(県内在住者)が県内の飲食店、小売店及び生活関連サービス業等において使用することができるプレミアム付きクーポン券を発行 | 8 |
| 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金交付事業費 | 1,570,000 (-) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、営業時間短縮要請に協力いただいた飲食店等への協力金の交付 | 8 |
| 事業継続応援事業費 | 2,761,000 (-) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 経営が困難となっている中小企業・小規模事業者に対して、幅広い業種において給付金を支給 | 8 |
| 計 | 6,701,245 (2,902,107) | | | |

⑩ 広域的なマーケットの開拓

| | | | | | | |
|-------|--------------------------|------|------|------|------|------|
| K P I | 県産品ポータルサイト「いいもの山形」掲載生産者数 | | | | | |
| | 基準値（平成 30 年度）： 24 者 | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 30 者 | 36 者 | 42 者 | 48 者 | 54 者 |
| | 実績値 | 56 者 | | | | |

【令和 3 年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

| |
|---|
| <p>< 県産品のブランドイメージの向上・定着 ></p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンテナショップ「おいしい山形プラザ」の来客数が伸び悩んでいることから、県産品の更なる魅力発信及びブランド力向上を図り、浸透度の高い効果的な情報発信を推進することが必要 ・ コロナ禍においてアンテナショップでのイベント等の実施が困難な状況にあるが、感染防止対策を講じながら、来客数及び売上の増加につながるような取組みが必要 ・ 県産品の販路拡大や観光誘客の上で、有望かつ極めて大きなマーケットである関西圏に対して、本県のより一層の認知度向上や積極的な情報発信に取り組むことが必要 ・ 県産酒の更なるブランド力の向上と県産酒を中心とする県産品全体の取引拡大を図ることが必要 ・ さらなる県産品の販路拡大と生産者による主体的な取組みを推進するために、ブランドイメージの定着に向けた継続的な情報発信が必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンテナショップの首都圏における情報受発信拠点としての機能を拡充 ⇒これまでの取組みに加え、首都圏にいながらも山形らしさを感じられるような、季節感や懐かしさを想起する商品を入口のイベントコーナーに展開したり、商品情報を SNS 等でタイムリーに発信したりするなど、運営面の工夫を強化 ・ アンテナショップのトライアル販売を継続 ⇒アンテナショップで県内企業の商品を一定期間販売し、首都圏消費者のニーズ等をフィードバックし、県内企業の売れる商品作りを支援するトライアル販売を継続し、県産品の首都圏における販路拡大を支援 ・ 関西圏における東北や本県の更なる認知度向上と観光誘客の強化 ⇒集客力の高い商業地等で、宮城県と合同での期間限定のアンテナショップを出店 ・ 国内外での情報発信の強化 ⇒新たな販路開拓に向け、バイヤーの招へいや酒関連製品までを含めた展示商談会等を実施 ⇒コロナ禍においても底堅い個人消費を一層拡大するため、県産酒ファン開拓を促進するインフルエンサーの養成や県産酒 PR イベントを実施 ・ ポータルサイトを核とした継続的な情報発信・需要創出 ⇒ポータルサイト魅力増進に資するコンテンツの充実や SNS 等を活用した情報の発信 <p>< 国内外への販売網の構築 ></p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的工芸品や地場産業製品などについて、従前より行ってきた個別商品の開発支援や、百貨店など特定の販路に対する働きかけでは、販路の開拓・拡大に限界あり ・ 県内企業の取引拡大に向けては、多様な受発注機会の創出が必要 |
|---|

| |
|--|
| <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品群のブランディングとバイヤーを通じた販路開拓・拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒デザイナーを活用し、複数の商品に対しストーリー性を持ったブランディングを行うことで商品群として造成 ⇒バイヤーを通じた販路の開拓・拡大を図るため、多くのバイヤーが参加する首都圏の展示商談会へ出展 県内企業の発注開拓支援 <ul style="list-style-type: none"> ⇒広域商談会の開催、取引推進員（県内）及び発注開拓推進員（首都圏）等による販路開拓支援 <p><県産品の輸出拡大></p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 貿易摩擦や新型コロナウイルスの感染拡大などによる経済情勢の悪化が進む中で、各国・地域のニーズに適した県産品の販路開拓・拡大を図ることが必要 中国や欧米等のEC市場をターゲットとして越境EC事業に取り組む県内企業に対し、販路開拓と継続取引につながる支援が必要 酒田港のコンテナ貨物について、新型コロナウイルスの影響や、輸出先国での販売状況の変化によって全体の貨物量の変動しているため、安定的な貨物量の確保が必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点地域を中心とした県産品の輸出拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒令和2年3月に策定した第2次山形県国際戦略において重点地域と位置付けた台湾、中国、香港、韓国及びASEANを中心に、信頼関係を構築してきた海外パートナーとの連携による県産品の輸出拡大 越境EC市場への参入支援 <ul style="list-style-type: none"> ⇒県内企業と越境ECバイヤーとのオンライン商談会等を開催し、海外EC市場への販路を開拓 酒田港利用拡大等に向けたポートセールスの展開 <ul style="list-style-type: none"> ⇒県内外の企業に対し、港湾機能の強化の状況やコンテナ航路の利用に対する助成等をアピールしながら、官民一体となった酒田港のポートセールスを展開 ⇒酒田港の国際定期コンテナ航路の運航会社に対し、地域を挙げたポートセールス活動状況等をアピールしながら、航路の利便性向上を働きかけ |
|--|

【令和3年度関連事務事業】 (単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連するSDGsの ゴール |
|-----------------|----------------------|---|--|------------------|
| アンテナショップ管理運営事業費 | 111,772 (120,517) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | アンテナショップの管理運営 | 8 |
| アンテナショップ機能強化事業費 | 1,401 (1,649) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | アンテナショップにおけるトライアル販売や電子看板の運用 | 8 |
| 山形県産品愛用運動推進事業費 | 2,145 (2,245) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 県産品の認知度向上や県民への普及啓発活動による県産品愛用運動の一層の定着促進 | 8 |
| 山形ファンクラブ活用推進事業費 | 10,400 (12,069) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 首都圏等をターゲットとした山形ファンの拡大と本県の旬な情報の発信 | 8 |

| | | | | |
|-------------------------------|----------------------|---|--|---|
| 山形県の物産展 開催事業費 | 7,500 (7,500) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 全国主要都市における「観光と物産展」 の開催 | 9 |
| 「日本一美酒県 山形」推進プロ ジェクト事業費 | 11,330 (4,046) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 県産酒を中心に食や伝統工芸、観光資 源など県産品等を総合的にPRする展 示商談会「日本一美酒県 山形」フェア の開催等 | 8 |
| 伝統工芸品販路 開拓事業費 | 5,447 (6,293) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 大学や専門家との連携による訴求力の ある製品開発及び戦略的プロモーショ ンの展開、地場産業・伝統工芸品産業 への就業体験プログラムの実施 | 8 |
| 届けよう山形の 魅力プロジェクト 事業費 | 20,285 (18,208) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 県産品のブランドコンセプトを活かし た情報発信や実売拡大に向けたしくみ づくり、宮城県との合同による関西圏 での期間限定アンテナショップの出店 | 8 |
| ものづくり産業 新活力創出事業 費（再掲） | 45,513 (一) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 新型コロナの影響等を踏まえたオンラ イン商談等による取引拡大支援や医 療、ロボット、環境・エネルギーなど の成長期待分野への進出支援 | 8 |
| 中小企業販路開 拓促進事業費 （再掲） | 23,987 (34,933) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 県内に取引推進員、首都圏に発注開拓 推進員を配置し、県内企業の販路開拓 支援を行うほか、複数の企業グループ が共同受注を行うための経費を助成 | 8 |
| 中小企業取引支 援対策事業費 （再掲） | 10,130 (18,480) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 取引あっせんや商談会（web 商談会含 む）開催等による中小企業の取引拡大 への支援や取引支援アドバイザーによ る生産性向上に向けた支援 | 8 |
| 県産品輸出戦略 事業費 | 30,250 (41,209) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 台湾、中国、香港、韓国、ASEAN地 域などへの県産品輸出に向けた商談 会、販売プロモーション及び県内事業 者の越境EC（海外向けEコマース） への取組みを促進するための海外EC バイヤーとのオンライン商談等の実施 | 8 |
| 経済国際化推進 体制整備事業費 | 22,553 (23,110) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 海外取引の支援、県産品輸出拡大の支 援強化を図るための推進体制等の充実 | 8 |
| 酒田港国際物流 拠点化推進事業 費 | 18,070 (18,110) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 酒田港利用拡大に向けたポートセール スの実施、並びにコンテナ航路の利用 に対する助成 | 9 |
| 計 | 320,783 (308,369) | | | |

⑰ 企業の持続的発展に必要な人材の確保、円滑な事業承継の促進

| | | | | | | |
|-------|--------------------------|-------|-------|---------|---------|---------|
| K P I | 社会保険労務士等の専門人材等の派遣企業数（累計） | | | | | |
| | 基準値（令和元年度）： 550 社 | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 750 社 | 950 社 | 1,150 社 | 1,350 社 | 1,550 社 |
| | 実績値 | 750 社 | | | | |
| | 県の支援による県内企業の事業承継マッチング数 | | | | | |
| | 基準値（令和元年度）： 14 件 | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 19 件 | 19 件 | 19 件 | 19 件 | 19 件 |
| | 実績値 | 9 件 | | | | |

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

| |
|--|
| <p><働きやすい職場環境の整備></p> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化が進み労働人口が減少する中、企業が持続的発展をしていくには、働き方改革の普及促進が必要 <p>（対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柔軟な働き方に関する企業の優良事例等情報発信の強化 ⇒ホームページ「WEB労働やまがた」や労働学院の開催等による普及・啓発 ・ 職場環境の改善を目指す企業への相談支援の充実 ⇒職場環境改善アドバイザーの派遣 ・ 正社員化や処遇改善、特に女性の正社員化や賃金向上に向けた支援の充実（再掲） ⇒非正規雇用労働者の正社員化や賃金引上げを行った事業者に対する支援金の給付（再掲） <p><新たな事業展開に結びつく事業承継の促進></p> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業承継の経営者の気づきにつながる「事業承継診断」は進んでいるが、円滑な事業承継をするためには個別のマッチング支援が必要 ・ 経営者が高齢化する中、後継者不在の企業が多く存在 <p>（対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業承継推進体制の強化、創業希望者と後継者不在企業とのマッチング ⇒事業引継ぎ支援センターと事業承継ネットワークの統合により体制を強化し、事業承継診断から個別支援への連携を強化 ⇒後継者バンクによる創業希望者と後継者不在企業とのマッチングを支援 <p><小規模事業者が持つ機能の承継の促進></p> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地場産業・伝統的工芸品産業における生産者は年々減少し、本県の伝統的技術・技法の継承は危機的状況にあり、後継者の育成が必要 ・ 事業承継を進めていくため、関係機関がさらに情報共有を図り連携していくことが必要 |
|--|

| |
|---|
| <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地場産業・伝統工芸品産業における後継者の確保 ⇒東北芸術工科大学に通う学生を対象とした地場産業・伝統的工芸品産業の就業体験プログラムの実施 ・ 関係機関との連携による事業承継の推進 ⇒事業承継ネットワークの構成機関との連携によるセミナー開催等により、事業承継をさらに推進 <p><中小企業・小規模事業者の持続化のための資金繰り支援> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスにより県内の幅広い業種に影響が及んでおり、経営基盤が脆弱な中小企業・小規模事業者の経営を下支えすることが必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商工業振興資金による支援 ⇒令和2年3月16日から令和2年8月31日まで実施した無利子・無保証料の融資制度に係る後年度の利子補給 |
|---|

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|---------------------|--------------------|---|--|----------------------|
| 人材確保・生産性向上推進事業費(再掲) | 37,032 (63,255) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 若者や女性、高齢者、障がい者等の多様な人材と企業とのマッチング支援、県内企業の生産性を向上するためのAI・ロボット導入支援の強化 | 8 |
| 就業環境改善促進事業費 | 5,933 (-) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 職場環境改善アドバイザーの派遣による女性労働者の職場環境改善に向けた普及啓発 | 8 |
| 女性の賃金向上推進事業費(再掲) | 120,370 (-) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 事業所内の非正規雇用労働者の賃金引上げを行った場合及び非正規雇用労働者を正社員に転換した場合、その事業者へ支援金を支給(再掲) | 8 |
| 生活あんしんネットやまがた事業費 | 7,912 (7,912) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 労働者等からの福祉や生活に関する相談受付や就労支援を行う生活あんしんネットやまがたの運営 | 8 |
| 事業承継・引継ぎ支援センターの設置 | | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 事業承継・引継ぎ支援センターの設置、経営者の早期の気づきの促進(事業承継診断、セミナー開催等)から個社支援(承継計画の策定、後継者育成塾の開催等)まで切れ目のない支援を実施(ゼロ予算事業) ※国から企業振興公社への委託事業 | 8 |
| 伝統工芸品販路開拓事業費(再掲) | 5,447 (6,293) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 大学や専門家との連携による訴求力のある製品開発及び戦略的プロモーションの展開、地場産業・伝統工芸品産業への就業体験プログラムの実施 | 8 |

| | | | | |
|--------------------------|------------------------------|---|--|---|
| 商工業振興資 金融資事業費 (再掲) | 123,554,067 (106,619,134) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 中小企業者の経営の安定と競争力の 強化のため商工業振興資金融資制度 の運営 ・取扱金融機関への原資貸付 | 8 |
| 計 | 123,730,761 (106,696,594) | | | |

3 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり【4】

(7) 総合的な少子化対策の新展開【4-5】



施策の推進方向と主な取組み

⑱ 若い年齢での結婚の希望の実現を後押しする取組みの強化

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<経済的基盤の安定化や新生活への支援の充実>

（課題）

- ・非正規雇用労働者の正社員化や同一労働同一賃金の実現による非正規雇用労働者の処遇改善が必要（再掲）

（対応）

- ・正社員化や処遇改善、特に女性の正社員化や賃金向上に向けた支援の充実（再掲）
⇒非正規雇用労働者の正社員化や賃金引上げを行った事業者に対する支援金の給付（再掲）

【令和3年度関連事務事業】

（単位：千円）

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|--------------------------|----------------|---|---|----------------------|
| 女性の賃金向上 推進事業費（再 掲） | 120,370 (-) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 事業所内の非正規雇用労働者の賃金引 上げを行った場合及び非正規雇用労働 者を正社員に転換した場合、その事業 者に支援金を支給 | 16 |
| 計 | 120,370 (-) | | | |

⑲ 出生数増加の鍵となる若者の定着・回帰の促進【⑤の再掲】

| K P I | 県内新規高卒者の県内就職割合（再掲） | | | | | |
|-------|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 基準値（平成30年度）： 77.9% | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 79.3% | 80.0% | 80.6% | 81.3% | 82.0% |
| 実績値 | 74.2% (R1) | | | | | |

| | | | | | | |
|-------|---------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| K P I | 県内大学・短期大学等卒業者の県内就職割合（再掲） | | | | | |
| | 基準値（平成30年度）： 36.1% | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 37.4% | 38.1% | 38.7% | 39.4% | 40.0% |
| | 実績値 | 37.4% | | | | |
| | 就職支援サイトのアクセス件数（セッション）（再掲） | | | | | |
| | 基準値（平成30年度）： 49,434件 | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 50,000件 | 50,500件 | 51,000件 | 51,500件 | 52,000件 |
| | 実績値 | 76,462件 | | | | |

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

- ＜学生目線に立った訴求力のある情報の発信＞
（課題）
・学生に伝わりやすく魅力的な就職関連情報を発信する効果的手法の検討・発信が必要（再掲）
- （対応）
・新卒者等の採用に向け新たな取組みを行う県内の中小・小規模企業に対する支援の対象に「PR動画作成」を追加し、学生への訴求力向上を促進（再掲）
- ＜県外進学者等に対する継続的な情報発信＞
（課題）
・県内高校卒業生への就職関連情報の継続的な発信が必要（再掲）
- （対応）
・県外の大学等に進学した学生に対する就職ガイダンス等の情報を発信するほか、県内企業の合同説明会を、新型コロナの状況を注視しながら首都圏又はオンラインで実施（再掲）
- ＜県内企業におけるインターンシップの受入れ促進＞
（課題）
・企業と学生のマッチングやインターンシップ受入れ企業向けのセミナー等の取組みの推進が必要（再掲）
- （対応）
・新型コロナの状況を注視しながら学生向けセミナーを首都圏又はオンラインで実施（再掲）
- ＜大卒者等の専門・高度な知識や能力を活かせる就業の場の拡大＞
（課題）
・大学、高等専門学校の卒業者の大部分が県外に就職（再掲）
- （対応）
・企業誘致活動の推進
⇒若者や女性、Uターン者、大卒者等の受け皿となる企業の本社機能・研究開発機能やソフト産業（ソフトウェア業やデザイン業等）等に対する積極的な誘致活動の展開（再掲）

<若者や女性等の志向に応じた就業の場の拡大>

(課題)

- ・コロナ禍にあって、商店街の活性化が停滞しており、リモートなどによる新たな仕組みの構築やeコマースなどの積極的活用が必要(再掲)
- ・コロナ禍にあって、まちづくりに取り組んでいる若者や女性もおり、引き続き意識啓発が必要(再掲)

(対応)

- ・ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた内容で「まちづくりカフェ」を展開(再掲)

<良質な就業環境づくり>

(課題)

- ・非正規雇用労働者の正社員化や同一労働同一賃金の実現による非正規雇用労働者の処遇改善が必要(再掲)
- ・新卒者等の早期離職を防止し、職場に定着する支援が必要(再掲)

(対応)

- ・正社員化や処遇改善、特に女性の正社員化や賃金向上に向けた支援の充実(再掲)
⇒非正規雇用労働者の正社員化や賃金引上げを行った事業者に対する支援金の給付(再掲)
- ・新卒者等の早期離職を防止する支援の充実(再掲)
⇒新卒者等と先輩職員との交流会等の実施(再掲)

<若者や女性の新しい感性に基づく多様な創業の促進>

(課題)

- ・若者や女性のアイデアを磨き上げ、ビジネスプランの作成や事業化に結び付けていくことが必要(再掲)

(対応)

- ・若者や女性の創業希望者が相談しやすい環境の整備(再掲)
⇒起業・創業支援のワンストップ窓口と県内外の起業家と交流ができるコワーキングスペースを設置(再掲)

<首都圏等からのUターン就職の促進>

(課題)

- ・新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした地方移住への関心の高まりを捉えた本県へのUターンの促進するための支援が必要(再掲)
- ・少子化や大学生を中心とした若者の県外流出等による人口減少が続いており、県内企業の人材確保が困難(再掲)
- ・コロナ禍で例年と比較して就職活動・採用活動が困難となることが予想される新卒学生・県内企業への支援が必要(再掲)

(対応)

- ・新型コロナウイルスの影響による県外からの移住の促進及び移住者の就職に向けた支援の充実(再掲)
⇒新型コロナウイルスの影響による県外からの移住者及び移住者を正社員として採用した事業者に対する奨励金の給付(再掲)
- ・市町村や産業界との連携による地域を挙げた県内就職支援の展開(再掲)
⇒本県の将来の担い手となる若者の県内回帰・定着を促進するため、市町村・産業界と連携した奨学金返還支援の実施(再掲)
- ・学生・企業双方からの期待が大きい「対面型」と遠方からの参加を可能とする「オンライン型」の両方を組み合わせた「ハイブリッド型の合同企業説明会」を開催(再掲)

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|-----------------------|--------------------------|---|---|----------------------|
| 企業立地促進事業費（再掲） | 2,051,796 (2,502,354) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 県外から新たに進出する企業及び県内企業（製造業、ソフトウェア業、デザイン業等）による設備投資等への支援 | 8 |
| 企業誘致連携強化推進事業費（再掲） | 2,150 (2,950) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 関係機関等との連携による効率的な企業誘致の推進 | 8 |
| 企業誘致活動促進事業費（再掲） | 5,961 (7,907) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 本県の強みを活かせる分野等での積極的な誘致活動の展開、誘致企業へのフォローアップ | 8 |
| 企業投資支援事業費（再掲） | 1,982 (3,172) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 首都圏等の企業に対し、本県の投資環境等をPRするセミナーの開催 | 8 |
| 創業者・小規模事業者総合応援事業費（再掲） | 59,420 (59,420) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 女性、Uターン希望者などによる創業の促進、小規模事業者の経営基盤強化への支援 | 8 |
| 賑わいのある商店街づくり推進事業費（再掲） | 4,012 (5,829) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 中心市街地・商店街の活性化に向けた取組みに対する市町村と連携した支援 | 8 |
| 山形の未来を担う産業人材創出事業費（再掲） | 28,291 (35,554) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 将来の山形の産業を担う子ども達の育成に向けた少年少女発明クラブへの活動支援、コワーキングスペースのネットワーク化、本県産業に活力を生み出すスタートアップ（創業）人材の育成、県内企業の採用活動等の人材確保策に対する支援等 | 9 |
| 女性の賃金向上推進事業費（再掲） | 120,370 (-) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 事業所内の非正規雇用労働者の賃金引上げを行った場合及び非正規雇用労働者を正社員に転換した場合、その事業者には支援金を支給 | 8 |
| 正社員雇用促進事業（再掲） | 77,500 (-) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 新型コロナの影響により離職を余儀なくされた県民及び県外から本県に移住した方を県内事業所において正社員として採用した場合、その事業者には奨励金、移住者には支援金を支給 | 8 |
| 県内定着・回帰促進事業費（再掲） | 16,601 (18,715) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 若者の県内定着・回帰に向けた就職情報サイトの運営、関係機関や首都圏の大学等と連携した地方創生インターシップの推進、新卒者等の早期離職防止に向けた交流会等の実施 | 8 |
| 若年者Uターン人材確保対策事業費（再掲） | 11,283 (12,578) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 首都圏などに住む若者等に対する就職相談や県内企業情報の提供等 | 8 |

| | | | | |
|-----------------------|--------------------------|---|---|---|
| 人材確保・生産性向上推進事業費（再掲） | 37,032 (63,255) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 若者や女性、高齢者、障がい者等の多様な人材と企業とのマッチング支援、県内企業の生産性を向上するためのAI・ロボット導入支援の強化等 | 8 |
| 新卒学生向け合同企業説明会実施事業（再掲） | 8,099 (一) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 「対面型」と「オンライン型」を組み合わせた「ハイブリッド型合同企業説明会」を開催 | 8 |
| やまがた就職促進奨学金返還支援事業（再掲） | 280,017 (354,002) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 本県の将来の担い手となる若者の県内定着・回帰を図るため奨学金の返還を支援 | 8 |
| 創業支援センター設置事業（再掲） | 34,686 (一) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 県内での起業・創業支援のワンストップ窓口と、県内コワーキングスペースの中核的機能を有する「山形県創業支援センター(仮称)」を創設 | 8 |
| 計 | 2,739,200 (3,065,736) | | | |

⑳ 子育てと仕事の両立に向けた取組みの強化

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

| |
|---|
| <p><働き方の見直しの推進> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進み労働人口が減少する中、企業が持続的発展をしていくには、働き方改革の普及促進が必要（再掲） <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な働き方に関する企業の優良事例等情報発信の強化（再掲） ⇒ホームページ「WEB労働やまがた」や労働学院の開催等による普及・啓発（再掲） ・職場環境の改善を目指す企業への相談支援の充実（再掲） ⇒職場環境改善アドバイザーの派遣（再掲） |
|---|

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連するSDGsの ゴール |
|-----------------|--------------|---|---|------------------|
| 就業環境改善促進事業費（再掲） | 5,933 (一) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 職場環境改善アドバイザーの派遣による女性労働者の職場環境改善等に向けた普及啓発 | 5 |
| 計 | 5,933 (一) | | | |

(8) 県民誰もが個性や能力を発揮し、活躍できる環境の整備【4-6】



| | | |
|------|----------------|---------|
| 目標指標 | 正社員割合の全国順位 | |
| | 基準値（平成29年） | : 2位 |
| | 直近値（平成29年） | : 2位 |
| 目標指標 | 目標値（令和6年） | : 1位 |
| 目標指標 | 高齢者（65歳以上）の有業率 | |
| | 基準値（平成29年） | : 25.2% |
| | 直近値（平成29年） | : 25.2% |
| | 目標値（令和6年） | : 30.2% |

施策の推進方向と主な取組み

② 一人ひとりの多様な社会参加・就労の促進

| | | | | | | |
|-------|-----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| K P I | 高齢者の新規就業者の掘り起しによる就業者数 | | | | | |
| | 基準値（年度）: | — | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 100人 | 100人 | 100人 | 100人 | 100人 |
| | 実績値 | 318人 | | | | |
| | 障がい者実雇用率の全国順位 | | | | | |
| | 基準値（平成30年）: | 35位 | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 30位以内 | 25位以内 | 20位以内 | 15位以内 | 10位以内 |
| | 実績値 | 43位 | | | | |

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<女性も男性も活躍できる環境づくり（ウーマノミクスの加速）>

（課題）

- ・人材確保のためには、女性が働きやすい職場環境づくりを行い、女性の就業率を向上させることが必要

（対応）

- ・女性が働きやすい職場環境を作るために必要な法制度、助成制度、具体的な事例等を紹介する企業向けセミナーの実施
⇒女性就業促進セミナーの実施

<元気な高齢者の活躍の場の拡大>

（課題）

- ・令和3年4月1日より70歳までの就労機会確保が企業の努力義務とされたことに伴う県内企業の対応促進が必要

| |
|--|
| <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・70歳までの就労機会確保についてセミナー等の活用により周知することで、高齢者の就労を支援 ・高齢者が就労する企業の開拓の手法に関し、山形県シルバー人材センター連合会に配置するコーディネーターによる直接の訪問の他、コロナ禍に配慮し、電話やメール等を有効に活用しながら実施 <p><障がい者がいきいきと暮らせる社会の実現 ></p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年3月1日より民間企業における障害者法定雇用率が2.3%に引き上げられたことに伴う県内企業の対応促進が必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業における障害者法定雇用率の引き上げについてセミナー等の機会により周知することで、企業における障がい者の雇用拡大を推進 <p><社会参加に困難を有する人の自立促進></p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域若者サポートステーションにおいて、令和2年度より就職氷河期世代も支援対象となったことから、その方々に対する有効な支援方法についての検討が必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域若者サポートステーションにおいて有効な支援方法を試行し、ノウハウを蓄積 |
|--|

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|---------------------|----------------------|---|---|----------------------|
| 高齢者活躍支援事業費 | 16,546 (16,546) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 県シルバー人材センター連合会及び地区シルバー人材センターに対する支援 | 8 |
| 障がい者就業応援事業費 | 1,013 (1,013) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 障がい者雇用の促進に向けた普及啓発事業の実施、障がい者職業訓練受入企業の開拓等 | 8 |
| トータル・ジョブサポート運営事業費 | 9,702 (10,434) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 県とハローワークが一体的に設置する「トータル・ジョブサポート」の運営 | 8 |
| 若者就職支援センター事業費 | 39,998 (40,044) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 若者の就職を在学中から職場定着まで一貫して支援する若者就職支援センターの運営 | 8 |
| 地域若者サポートステーション事業費 | 14,233 (14,249) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | ニートなどの若者に対する職業的自立に向けた支援プログラムの実施 | 8 |
| 人材確保・生産性向上推進事業費(再掲) | 37,032 (63,255) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 若者や女性、高齢者、障がい者等の多様な人材と企業とのマッチング支援、県内企業の生産性を向上するためのAI・ロボット導入支援の強化等 | 8 |
| 計 | 118,524 (145,541) | | | |

② 外国人の受入環境の整備

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

| |
|--|
| <p><留学生等の受入れから定着までの総合的な支援> (課題) ・県内大学等の留学生が、本県の魅力や県内企業の技術力等に触れ、就職先として強く関心を持ってもらうことが必要（再掲）</p> <p>(対応) ・県内大学等の留学生を対象に、大学等との連携を図りながら、県内企業への訪問や企業説明会など県内企業との接点を設けながら、留学生と県内企業とのマッチング支援を実施（新型コロナウイルスの状況によっては、オンラインによる説明会の実施も検討）（再掲）</p> |
|--|

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|-----------------|------------------|---|---|----------------------|
| 海外事業展開戦略事業費（再掲） | 2,874 (2,874) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 県内大学等の留学生を対象とする企業見学会・企業合同説明会の開催等による県内企業の外国人高度人材活用促進 | 8 |
| 計 | 2,874 (2,874) | | | |

③ 多様な主体による社会的課題の解決に向けた取組みの促進

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

| |
|---|
| <p><ボランティア団体やNPO、企業等の活動の活性化> (課題) ・県内の返礼品取扱事業者等、企業活動の活性化を図るため、山形応援寄付金（ふるさと納税）の増加に取り組むことが必要</p> <p>(対応) ・山形応援寄付金（ふるさと納税）の増加 ⇒昨年度に拡充したポータルサイトを通じた寄附金受入の継続と広告掲載の拡充 ⇒代行業者との連携による魅力ある返礼品の創出、寄附者及び返礼品取扱事業者の利便性向上</p> |
|---|

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|------------------|------------------------|---|-----------------------------------|----------------------|
| 山形応援寄付金受入事業費（再掲） | 1,008,580 (746,320) | <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 山形応援寄付金（ふるさと納税）を通じた県産品の知名度向上と販路拡大 | 8 |
| 計 | 1,008,580 (746,320) | | | |

⑭ 働き方改革の推進

| | | | | | | |
|-------|--------------------|--------|-------|-------|-------|-------|
| K P I | 年次有給休暇取得日数 | | | | | |
| | 基準値（平成 30 年）：9.3 日 | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 9.3 日 | 9.3 日 | 9.3 日 | 9.3 日 | 9.3 日 |
| | 実績値 | 10.4 日 | | | | |

【令和 3 年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

| |
|---|
| <p><働きやすい職場環境の整備> （課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進み労働人口が減少する中、企業が持続的発展をしていくには、働き方改革の普及促進が必要（再掲） <p>（対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な働き方に関する企業の優良事例等情報発信の強化（再掲） ⇒ホームページ「WEB労働やまがた」や労働学院の開催等による普及・啓発（再掲） ・職場環境の改善を目指す企業への相談支援の充実（再掲） ⇒職場環境改善アドバイザーの派遣（再掲） ・正社員化や処遇改善、特に女性の正社員化や賃金向上に向けた支援の充実（再掲） ⇒非正規雇用労働者の正社員化や賃金引上げを行った事業者に対する支援金の給付（再掲） |
|---|

【令和 3 年度関連事務事業】

（単位：千円）

| 事業名 | 予算額 （前年度） | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGs の ゴール |
|----------------------|--------------------|---|---|-----------------------|
| 就業環境改善促進事業費（再掲） | 5,933 （－） | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 職場環境改善アドバイザーの派遣による女性労働者の職場環境改善等に向けた普及啓発 | 8 |
| 女性の賃金向上推進事業費（再掲） | 120,370 （－） | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 事業所内の非正規雇用労働者の賃金引上げを行った場合及び非正規雇用労働者を正社員に転換した場合、その事業者に支援金を支給 | 8 |
| 生活あんしんネットやまがた事業費（再掲） | 7,912 （7,912） | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 労働者等からの福祉や生活に関する相談受付や就労支援を行う生活あんしんネットやまがたの運営 | 8 |
| 計 | 134,215 （7,912） | | | |

4 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用【5】

(9) 国内外の活力を呼び込む多様で重層的な交通ネットワークの形成【5-2】



施策の推進方向と主な取組み

㊸ 国際ネットワークの形成促進

| K P I | 酒田港の国際定期コンテナ航路貨物量（実入り） | | | | | |
|-------|------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 基準値（平成30年）： 25,321 TEU | | | | | |
| | | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 |
| | 指標値 | 28,500TEU | 30,100TEU | 31,700TEU | 33,300TEU | 35,000TEU |
| 実績値 | 21,879TEU | | | | | |

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<酒田港の機能強化>

（課題）

- ・酒田港のコンテナ貨物について、新型コロナウイルスの影響や、輸出先国での販売状況の変化によって全体の貨物量の変動しているため、安定的な貨物量の確保が必要（再掲）

（対応）

- ・酒田港利用拡大等に向けたポートセールスの展開（再掲）
 - ⇒県内外の企業に対し、港湾機能の強化の状況やコンテナ航路の利用に対する助成等をアピールしながら、官民一体となった酒田港のポートセールスを展開（再掲）
 - ⇒酒田港の国際定期コンテナ航路の運航会社に対し、地域を挙げたポートセールス活動状況等をアピールしながら、航路の利便性向上を働きかけ（再掲）

【令和3年度関連事務事業】

（単位：千円）

| 事業名 | 予算額 （前年度） | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|---------------------|--------------------|---|--|----------------------|
| 酒田港国際物流拠点化推進事業費（再掲） | 18,070 (18,110) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 酒田港利用拡大に向けたポートセールスの実施、並びにコンテナ航路の利用に対する助成 | 9 |
| 計 | 18,070 (18,110) | | | |

(10) 地域の特性を活かし暮らしを支える活力ある圏域の形成【5-4】



施策の推進方向と主な取組み

㊼ 魅力あるまちづくりの推進

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

| |
|---|
| <p><まちの賑わいの創出> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地は「まちの顔」であるが、郊外型大型店やコンビニの増加などにより来街者が減少し、賑わいが低下 ・ 個店が経営に追われ商店街の活性化に従事できる人材が不足 ・ 商店街は身近な地域の商業機能として、県民の生活を支える重要な役割を担っているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い買い物客が減少 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地・商店街活性化への支援 ⇒長期的ビジョンの策定や策定した計画の事業実施、賑わいづくりの取組みへの支援 ・ 新型コロナの感染拡大防止に努めながら商店街が行う消費喚起の取組みへの支援 ⇒商店街が一体となって取り組むセール等の販売促進に係る広告費等を支援 <p><新・生活様式に対応した環境づくり> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの感染防止の取組みと地域経済の回復の両立のため、県民が安心して飲食ができる環境づくりが必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「山形県新型コロナ対策認証制度」の認証取得のための感染防止対策設備投資を支援 ⇒パーティション・アクリル板、二酸化炭素濃度測定器、加湿器等の設備投資を支援 |
|---|

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|-----------------------------|------------------|---|---|----------------------|
| 賑わいのある商店街づくり推進事業費（再掲） | 4,012 (5,829) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 中心市街地・商店街の活性化に向けた取組みに対する市町村と連携した支援 | 11 |
| 商店街振興組合等組織体制強化事業費 | 1,079 (1,079) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 山形県商店街振興組合連合会が実施する商店街振興組合の運営指導や研修事業等に対する支援 | 11 |
| コロナ対応商店街販売促進緊急支援事業費 | 5,000 (-) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 新型コロナの感染拡大防止に努めながら商店街が行う消費喚起の取組みに対する市町村と連携した支援 | 11 |
| 新・生活様式対応支援事業費（新型コロナ対策認証対応型） | 218,700 (-) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 「山形県新型コロナ対策認証制度」の認証取得のため、感染防止対策を講じるための設備を導入する経費に対する支援 | 11 |

| | | | |
|---|--------------------|--|--|
| 計 | 228,791 (6,908) | | |
|---|--------------------|--|--|

② 県を超えた交流連携の推進

【令和3年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

| |
|--|
| <p><多様な分野における近隣県等との交流連携の推進> (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北における自動車関連産業の集積が進み、取引が活発化する中、東北が一丸となって自動車関連産業を振興していくことが必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海地域の自動車メーカー及びサプライヤーに対して、東北6県・北海道・新潟県の企業、大学等が一堂に介し、自動車関連技術展示商談会を開催 |
|--|

【令和3年度関連事務事業】

(単位：千円)

| 事業名 | 予算額 (前年度) | 区分 | 事業概要 | 関連する SDGsの ゴール |
|-----------------------------|--------------------|---|--|----------------------|
| 自動車関連産業 集積促進事業費 (再掲) | 19,232 (20,128) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 県内企業の取引拡大に向けた商談会の開催、自動車メーカーOBによる県内企業への個別指導、次世代自動車技術への対応等 | 17 |
| ものづくり産業 新活力創出事業 費(再掲) | 45,513 (一) | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 | 新型コロナの影響等を踏まえたオンライン商談等による取引拡大支援や医療、ロボット、環境・エネルギーなどの成長期待分野への進出支援 | 17 |
| 中小企業取引支 援対策事業費 (再掲) | 10,130 (18,480) | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続 | 取引あっせんや商談会(web商談会含む)開催等による中小企業の取引拡大への支援や取引支援アドバイザーによる生産性向上に向けた支援 | 17 |
| 計 | 74,875 (38,608) | | | |